

令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立沼津特別支援学校 愛鷹分校 P T A
学 校 名	静岡県立沼津特別支援学校 愛鷹分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	52人

1. 使用状況

寄贈物品名	コンピューターミシン 5台
使用学年及び人数	全学年 28名（作業学習:布工房在籍者）
使用頻度	週4回程度
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・作業学習での使用(布工房) <1年生:毎週火曜日、水曜日…計2回> <2年生:毎週火曜日、金曜日…計2回> <3年生:毎週月曜日、水曜日…計2回>
物品の使用による変化や効果	<p>布工房では、エコバッグや布マスク、ポーチなど、時代や地域のニーズに合わせて、様々な製品を作成しており、地域の事業者や関係の職員に販売をする機会を設けている。寄付を頂いたコンピューターミシンを使用することにより、効率よく製品を制作することができたり、新たな製品作りができたりと、生徒たちの充実感につながっている。</p> <p>また、近隣の幼稚園から、受注があり、意欲的に製品づくりに取り組むことができている。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>申込当初の目的は、概ね達成できていると考えている。</p> <p>今後も、生徒が主体的に製品作りに取り組み、受注生産をしたり、新規に販売できる場所を探したりし、達成感を感じられるようにしたい。</p>
その他希望や所感など	<p>布工房に在籍し、頂いたコンピューターミシンを使用して、製品作りに取り組む中で、卒業後の進路として、「衣服作り」に興味をもった生徒がいた。学校でのこういった活動が進路選択の材料となり、大変ありがたかった。</p>

2. 活用の様子

- 布工房でコンピューターミシンを使用し、製品を作成している様子
- ・3年男子生徒



- ・3年女子生徒

